

News Letter

はっかいち

暮らしのこと

ゼミナール

第3回「共有してみる」を開催しました！

開催概要

日時 2019年 12月 21日(土) 10:00~14:00

会場 正覚院 薬師堂(廿日市駅前)

出席者 17人



【開催レポート】第3回「共有してみる」2019.12.21(土)

暮らしのことゼミナール最終回は、廿日市駅近くのお寺「正覚院」の「薬師堂」をお借りして開催しました。最終回のテーマは「共有してみる」。第2回で企画したプロジェクトを実践してみたの共有とふりかえりをしました。まず、実践したグループまたは個人で発表の準備。今回も発表はKP(紙芝居プレゼンテーション)で行いました。プロジェクトの概要、目的、結果、気づきや発見を思い出しながら、A4用紙にまとめていきました。そして、いよいよ発表タイム。本を交換しながらの鍋会、不登校の子どもたちとの釣り、高齢者がこども食堂に参加してみる、多世代交流の場づくり…などなど、どの取組も一つひとつは小さな取組に見えても、そこから次へとつながり、広がっていく可能性をたくさん秘めていました。「自分ごと」から始まって、社会のことにつながっていく…。県立広島大学の手島洋先生からも、それぞれのプロジェクトにアドバイスをいただき、活動のヒントとより深めるための大切な視点をたくさんいただきました。



- ・市民活動から福祉活動に展開するには、「親密圏」に近づく取組が必要になる
- ・コーディネーターがマッチングした後、どうだったかモニタリングをする
- ・ボランティアな活動をする人には動機が必要
- ・自分を振り返りながら「語る」ことの大切さ

共有と振り返りの後は、みんなで持ち寄りごはん会！参加者がそれぞれ持ち寄ったおいしいものを囲んで食べながら交流し、今回の参加者同士の出会いをさらに深める時間にもなりました。

